



入院患者さんの
栄養サポート

栄養部の紹介



食事サービスの
取り組み



外来栄養相談



訪問栄養相談



褥瘡チーム



摂食嚥下チーム



NST



地域・SNS

当院栄養部は病院栄養士12名(管理栄養士)、給食業務は北海道グリーンハウスに委託しています。
患者さんの治療を栄養面からサポートするため、上記活動に積極的に取り組んでいます。

入院患者さんの 栄養サポート

病棟担当制でより身近な存在に

.....

病態、年齢、性別、身長、体重、活動量などに
合わせたきめ細やかな栄養管理を行っています。

- 「食事が食べられているか」
- 「食べにくいものはないか」
- 「体重が減っていないか」

患者さんとのコミュニケーションを
大切にしています。



患者さん一人ひとりに
寄り添う栄養ケア



食事サービスの取り組み No.1

適温配膳

温かい食事は温かく、
冷たい食事は冷たく提供できるように
適温（温冷）配膳車を使用しています。



食事サービスの取り組み No.2

当院の食事形態



常菜



刻み菜



五分菜



軟菜食



ミキサー食

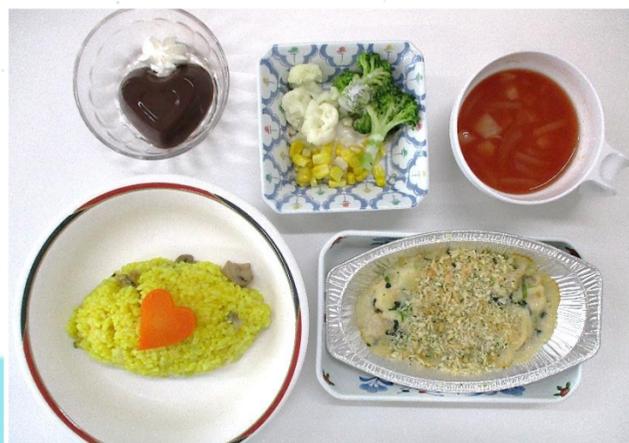


ゼリー食

行事食

季節感や祭日にちなんだお食事を提供し、食べる事への楽しみを感じて頂けるよう心がけています。

例) バレンタインデー



常菜



軟菜食



ミキサー食



お正月

食事サービスの取り組み No.3

● 季節にちなんだイベントサービスの実施

- ▶ 7月：デザート（ケーキ、プリン、ムースなど）
- ▶ 7月～8月の期間：アイスクリーム
- ▶ 9月～10月の期間：おしるこ
- ▶ 12月～3月の期間：寿司
- ▶ 3月：甘酒



サービス内容は、栄養部・給食栄養改善委員会にて毎年検討しています

外来栄養相談



●●●●●●●●●● 栄養相談を受けたことはありますか？

☞ 外来患者さんとそのご家族を対象に栄養相談を行っています。食生活状況をお聞きしながら、その方にあった食事内容、食べ方、調理法など具体的に提案し、一緒に考えさせていただきます。

栄養相談を受けるには？

☞ 栄養相談は予約制です。医師の指示が必要です。ご希望の方は主治医・外来看護師にご相談ください。



このような方におすすめです

- ✓ 最近体重が減ってきた
- ✓ 家族が食事でムセるようになったがどうやって調理したらいいかわからない
- ✓ 血中コレステロールや中性脂肪が高い
- ✓ 糖尿病 高度肥満 (BMI30以上) 腎臓病 肝臓病 胃潰瘍 貧血 膵臓病 低栄養 など
- ✓ 医師に勧められた

訪問栄養食事指導



入院中から在宅まで

継続的な食事栄養支援

当院栄養部は入院患者さんへ栄養食事管理を積極的に実施しています。しかし入院中だけ栄養食事管理ができればよいわけではなく、退院後の食生活が安心して過ごせる環境が整っていなければ、本当の栄養食事管理とは言えません。

「患者さんのおいしく、楽しく食べる、自分らしく生きる。を支援したい」という思いで日々在宅へ出向き支援いたします。



こんな方に介入しています！

- ☞ 生活習慣病改善or予防or悪化防止
- ☞ 食べやすい食形態の提案
(*摂食嚥下機能低下がある方、義歯不適合など)
- ☞ フレイル・低栄養の方or予防目的の介入
- ☞ 体重減少や食思不振のある方
などなど・・・



摂食・嚥下チーム の活動

摂食・嚥下チームでは、摂食嚥下障害を抱える患者さんに対し食のニーズを実現するため、安全な食事の提供かつ食の楽しみが得られるよう食支援をサポートする多職種によるチームです。

管理栄養士は
2名がメンバー
として活動中



嚥下外来における 栄養評価・栄養サポート

どんなことを行う？

☞患者さんの機能や状態に適した食事形態を把握し、嚥下嚥下造影検査（VF）又は内視鏡検査（VE）の準備を行います。

終了後は？

☞ 嚥下評価に基づき、どのような食形態が良いのかどれだけの栄養量が必要なのか、調理法や購入方法なども交えながらご本人・ご家族にお伝えしています。



摂食・嚥下ラウンドへの参加

☞ 院内で定期的に行っている摂食・嚥下チームラウンドにチームメンバーとして参加。嚥下障害のある患者さんに栄養面からのアプローチを行い、食支援をサポートします。



NST活動



栄養部全員がNSTメンバーとして活動



NSTチェアマン:小村博昭副院長

NSTとは**nutrition support team (栄養サポートチーム)**の略。主治医からの依頼により、医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、臨床検査技師、そして管理栄養士が1つのチームとなり、有機的な連携を保ち、それぞれの知識や技術を提供して、患者さんに最適の栄養支援を行っています。

患者さんにとって最適な栄養サポートを行い、その結果疾患の早期発見・治療、合併症の予防、早期退院や社会復帰へ結びつけることを目的としています。

当院NSTでは独自の栄養管理ソフト(PEN)を作成。
パソコンで栄養メニューを選択すると、その内容が自動計算されます(図1)。
当院の全ての輸液、経腸栄養剤が登録されており、患者さんの栄養状態を適切に管理しています。

(図1)栄養管理ソフト(PEN)





地域活動の参画

・SNS活動



地域活動への参画



- ・公開講座等の講師
- ・地域の方への栄養相談など



病院公式Instagram でのSNS活動

嚥下食のレシピやコツ、行事食の紹介など、
楽しく発信を行っています。

